

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月06日

計画の名称	高度な防災都市を実現し、都民の安心安全を確保する河川整備（防災・安全）緊急対策													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○				
交付対象	東京都													
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、中小河川の洪水対策を推進して、災害に強い都市をつくり安全・安心な生活の確保を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		56	A	56	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	多発する集中豪雨から都民の生命と財産を守るため、1時間50mmの降雨に対応できる護岸や調節池等の整備を進め、河川の安全度を向上させる。 1時間50mmの降雨に対応できる河川の護岸等の整備により、解消が期待できる洪水による浸水面積	1303ha	1322ha	1341ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
定量的指標は都の単独事業の進捗も考慮している。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
河川事業	A03-001	河川	一般	東京都	直接	東京都	総合治水(1)	-	鶴見川水系鶴見川総合治水対策特定河川事業(鶴見川)	護岸(526m)、橋梁(3橋)	町田市						56		-
											小計						56		
											合計						56		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 東京都内部で事後評価を実施	事後評価の実施時期 令和8年3月
	公表の方法 東京都建設局ウェブサイトにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	高度な防災都市を実現し、都民の安心安全を確保する河川整備を着実に推進した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

